

結ゆい

高岡市立高陵中学校
第1学年だより
第11号
令和7年2月28日

心に響く言葉

川堰 仁美

三月になると、何となく心がざわつく。慣れ親しんだ環境との別れ、そして四月からの新しい生活に少なからず不安を感じるからだ。そんなこの時期、ある卒業生と交わした会話を思い出す。「先生の言葉のおかげで、頑張ることができました」。私は、何と声を掛けたか覚えておらず、「何か言った?」と聞くと、「『できる人は、言い訳をしない。勉強、部活、生徒会。何でも全力で楽しんでいる』と、言ってくれました」と、笑顔で答えた。何気ない言葉が、その生徒にとって心に響く言葉だったと聞きうれしく思う反面、言葉がもつ力の重みについて考えた。

私にも、心に響いた言葉が三つある。

「何を始めるにも、遅いことはない」

大学卒業後の進路について悩んでいた時、旅先で出会ったアメリカ人女性と将来について話した。話の途中で彼女は、「何を始めるにも、遅いことはない。自分のタイミングで始めればいい」と、言ってくれた。その言葉は、私を色々なしがらみから解放してくれた。周りの意見に左右されず、自分が「納得できること」を自分のタイミングで始めようと思った。

「人生、上手くいかないから面白い」

産休のため年度途中で担任を外れることになり、当時学年主任をされていた先生に申し訳ない気持ちを伝えた。その時に、この言葉を掛けられた。それ以来、何か壁にぶつかっても前向きに捉えられるようになった気がする。

「努力は一生 本番は一回 チャンスは一瞬」

日本ハムファイターズ、新庄剛志監督の言葉。この言葉を聞き、忙しさを理由に英語学習から遠のいている自分が頭をよぎった。学生時代と比べると、語彙力がどんどん衰えてきているような気がする。自分が好きで学んだ英語を、生涯いろいろな場面で生かすことができるよう、これを機会に勉強を再開しようと思う。

四月からの新たな生活に向け、色々な思いを巡らせている人もいるだろう。それぞれがそれぞれのタイミングで、与えられたチャンスを生かせるように、努力を続けよう。たとえそれが上手くいかなかったとしても、それが人生の面白さだから。



3月の予定



1	土	
2	日	
3	月	短縮授業(～21日)
4	火	
5	水	
6	木	5限後放課 教室ワックスがけ(放課後) 選挙運動(～7日)
7	金	5限後清掃・放課
8	土	
9	日	
10	月	
11	火	部送別会 卒業式練習・歌練習
12	水	卒業式予行、卒業に関する授賞 同窓会入会式・講演会
13	木	第78回卒業証書授与式 給食なし
14	金	5限後清掃・放課 生徒会長選挙
15	土	
16	日	



17	月	
18	火	給食後清掃・放課
19	水	スポーツ大会(1, 2限) 給食後放課
20	木	春分の日
21	金	給食終了、愛校の日 給食後放課
22	土	
23	日	
24	月	終業式・修了式・離任式
25	火	学年末休業(～4/6)
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	

進路学習

総合の時間に、進路学習をしています。冬休みに職業についてインタビューしたり調べたりしたことについて、班で情報を共有し、「職業」を選ぶときに大切なことについて考えました。

- ・ 人間はお金がないと生活できないから仕事に就くのだと思います。そのうえで、自分の好きなことや得意な仕事を選んだり、続けられそうな内容や環境を選んだりすればよいと思いました。また、個人のためだけではなく、社会や周りの人のために仕事をするということも、やる気が出てやりがいにつながると思いました。
- ・ 自分が思っていた以上に、仕事は複雑で大変なことだと改めて感じました。いろんな方向から見るのが、仕事選びには大事なことだと思いました。
- ・ 班の人の職業を選ぶときに大切なことを聞いて、人それぞれ性格、個性が違うからこそ、いろんな職業が生まれ、成り立っているなと思いました。職業を選ぶときに、私は「自分に合った仕事」くらいしか考えられなかったけど、班の人と共有してたくさんの職業の選び方、考え方があるということを知ることができました。

